

第 342 回

エフエム石川放送番組審議会議事録

議 題

業務概要の報告

試聴と質疑・意見交換

令和 7 年 3 月 1 日

株式会社エフエム石川

第 342 回エフエム石川放送番組審議会

1. 開催年月日・開催場所

2025 年 1 月 24 日（金） 午後 6 時 ～
金澤 さくら亭（金沢市兼六町 2－3 2）

2. 委員の出席

総委員数 6 名
出席委員数 6 名

出席委員の氏名（50 音順）

委員長 : 柳澤良一

副委員長 : 中塚健也

委 員 : 工藤彩子、久保 勉、平木孝志、宮川昌江

3. 議題

業務概要の報告

番組試聴と質疑・意見交換

議事内容

〔業務概要の報告〕

業務報告では番組に関して、能登半島地震から1年となる今年の元日午後3時から4時45分まで特別番組を放送したこと、番組は一部北陸放送との共同制作としてお送りしたことが報告されました。

〔番組の試聴と質疑・意見交換〕

(1) 【試聴番組】

タイトル：Pray with 能登 ONE ～能登半島地震から1年～

放送日時：2025年1月1日(水) 15:00 ～ 16:45

出 演：木村雅幸（エフエム石川 アナウンサー）

拓朗（七尾市在住のシンガーソングライター）

川瀬裕子、沼田憲和（北陸放送 アナウンサー）

田中純一（北陸学院大学教授）

(2) 【番組内容】

1部：住まいが被災し避難所生活を経験した七尾市在住のシンガーソングライター、拓朗さんへのインタビュー。震災直後の様子を振り返りつつ、生演奏も交え、復興と音楽について思いを伺った。

2部：輪島市で開かれた石川県主催の犠牲者追悼式の模様を一部生中継。馳浩知事の式辞や石破茂首相の挨拶、遺族代表の小林由紀子さんの言葉を放送した。

3部：北陸放送のスタジオと結ぶクロストークでは、復旧復興への課題などを北陸学院大学の田中純一教授をゲストに迎えて話を伺った。

このほか全国から寄せられた能登を応援するメッセージも紹介するなど全編を通じて能登に寄り添う内容としました。放送後には「テレビの追悼式中継は悲しくて見ていられなかったけど、エフエム石川の番組は心穏やかに聴くことができて良かった」などというリスナーの感想が寄せられた。

- ・今回1年目ということで今後続いていくことを考えると、2時間の番組は長かったのではないかと思います。短めのほうがリスナーの心にも残ると思いました。アナウンサーの皆さんは落ち着いた話し方をされていて、追悼の番組に合っていたと思います。今後2年目、3年目と変わっていくと思いますが、忘れられないための番組なのか、今頑張っている人に寄り添う番組なのかテーマを絞ったら良いのではないかと思います。2部の式典は映像で見るとより音声で聴く方が聴きやすいと思いました。
- ・エフエム石川とMROラジオとの合同生放送は珍しく、どんな内容になるのか関心がありました。重たいテーマの中で、実際に被災されている拓朗さんをゲストに読んだのは良かったと思いました。歌があることで何か救われたような気がしました。FMラジオは歌がある意味生命線なのだと再認識しました。辛い時に「大丈夫だ」という言葉が心に響いたという歌詞が印象的でした。追悼式は遺族代表の小林さんの言葉が心に響きました。MROラジオと繋いだトークでは田中教授の話は説得力があると思いました。川瀬アナウンサーが発災という言葉を使っていたことは少し違和感がありました。MROラジオとの共同の番組として検証して来年に向けてほしいと思います。
- ・発災という言葉は北陸放送が以前から使っていて直そうとしていないです。災害が起こるなど言い方を変えるべきだと思います。共同放送したこの機会に北陸放送に伝えて良いのではないかと思います。
- ・知事や総理の式辞は勉強になりました。拓朗さんの歌はケーブルテレビでも拝見したことがあります。直接被災された方として生々しい現実を的確に話していたので、大変良かったと思います。実際にお父さんを亡くされたその気持ちをラジオを通じて聴き、声だけでこんなにも伝わってくるのかと思いました。これから被災地に向けて何をしたらいいかのヒントがあったと思いました。「君が代」を映像なしで聞けて大変良かったです。こんなに素晴らしい歌なのかと響きました。
- ・番組は3部構成となっており、1部の拓朗さんは七尾市の生まれで、被災された方にも多く接していて、話も伝わりやすく大変良かったです。音楽も良く、気持ちが入って胸を打たれました。能登の人の心の支えとして歌を提供するというのが良かったです。話に臨場感もありました。2部の式典では、県や日本を代表する方々の言葉が良かったです。被災者代表の小林さんの言葉も大変良

かったです。この番組を試聴する際も改めて立ち上がって黙祷しました。元日に相応しい番組だと思いました。

・全体として構成がよく練られており、相当準備をされたのだと思いました。それだけに黙祷の部分に関しまして（無音を異常と感知したために）音楽が鳴ってしまったことについては正直残念に思いました。リハーサルなどをされれば良かったのではないのでしょうか。追悼式の臨場感は十分に伝わっていたと思います。追悼式の視聴に関してテレビやYoutube、ラジオなど幾つもの選択肢があったのは良かったです。共同放送に関してはFMとAMのお互いの良さが出るともって面白いと思いました。災害に対する意識の風化防止はこれからが一番の課題です。出来る限り能登の現状や復興に向けて動いている姿を全国のリスナーさんに伝え続けてほしいと思っています。

・歌の力というのがすごくあるなと番組を聞いて思いました。拓朗さんも鶴真衣さんも訴える力があると思いました。このような歌の力を全面に出した番組をもっと放送してほしいと思いました。MROラジオとの共同放送については、沼田さんが現地へ行った話を聞けたのは良かったです。共同の意義があったのかとも思いました。アナウンサー2人と田中先生の話がちぐはぐしていた感じがぬぐえないと思いました。

全体としては構成がしっかりしていたが、もう少しコンパクトにならないかという意見がありました。拓朗さんや地元の方の話に心打たれたという意見が多かったです。耳で聞くラジオはより響いてくるものがあり、全国の人に地震と洪水の様子を伝えてほしいと思いましたという意見が多かったです

〔議事の概要を公表する場合の日時や内容〕

第342回番組審議会の議事概要の公表

令和7年2月15日（土）19:55-20:00に放送

掲載書面の備え置き、及びインタット・ホームページへの掲載